

平成25年6月期(第22期) 決算ハイライト

平成25年8月2日
アクモス株式会社

目次	■ 第22期 総括	2	■ 利益配分方針	17
	■ 連結業績ハイライト	3	■ 対処すべき課題	18
	■ 連結 売上高・営業利益の推移	4	■ 参考資料	19
	■ 連結 キャッシュ・フローの推移	5	▪ (info.)アクモスグループ事業	
	■ 連結財政状態	6	▪ (info.)アクモスグループ一覧	
	■ 連結貸借対照表	7	▪ 単体 売上高・営業利益の推移	
	■ 連結損益計算書	8	▪ 単体貸借対照表	
	■ 連結キャッシュ・フロー計算書	9	▪ 単体損益計算書	
	■ 連結業績 セグメント別増減	10		
	■ セグメント情報 ITソリューション事業	11		
	■ セグメント情報 ITサービス事業	12		
	■ 第22期 経営計画の結果について	13-15		
	■ 第23期 業績予想	16		

第22期 総括

売上高減少の影響で営業利益がマイナスに 当期純損失は12百万円

売上高	2,657百万円 (前年同期比 376百万円減)
売上総利益	854百万円 (前年同期比 131百万円減)
営業利益	△18百万円 (前年同期比 28百万円減)
当期純利益	△12百万円 (前年同期比 28百万円減)

事業の環境

- ・景気回復の期待は高まるも、依然として先行きは不透明
- ・IT投資再開の兆しがみられ、スマートフォン・タブレット関連市場は拡大
- ・厳しい事業環境。全体的なIT投資抑制傾向、運用サービス単価の低下傾向が続く

ITソリューション事業(SIソフトウェア開発、地図情報提供サービス)

- ・SIソフトウェア開発では、発注金額抑制傾向が続き、売上高は前期比376百万円減少
- ・業務管理強化、外注抑制、研究開発費減少等により、営業費用を前期比で229百万円削減
- ・アクモスにおいて、システムインテグレーション製品の共通ブランド『SYMPROBUS』を使用開始
消防通信指令システム受注案件にて、工事進行基準売上44百万円計上
- ・ASロカスが吸収分割により昭文社デジタルソリューションの事業の一部を承継、
2013年6月1日より、業務系アプリケーション開発・地図情報提供サービス事業を開始

※ASロカスは、2013年6月の1か月分の業績のみ連結に含んでおります。

ITサービス事業(情報処理サービス、IT製品のテスト)

- ・情報処理サービスは堅調。前期の売上水準を維持
- ・IT製品のテスト事業のエクスカルは、第2四半期より連結除外し持分法適用会社になるも、
2013年6月26日に米National Technical Systems社の持つ株式を全て譲り受け、100%子会社化

※エクスカルは、当期においては第1四半期の業績のみ含んでおります。

※「SYMPROBUS」はアクモス株式会社の登録商標です(第5595952号)

連結業績ハイライト

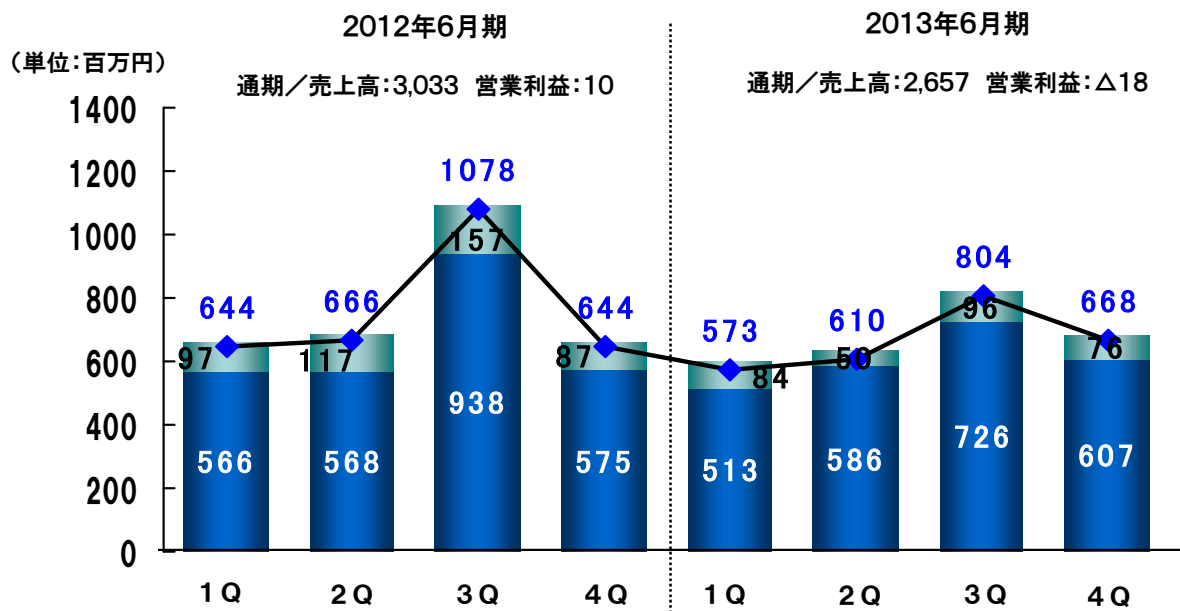
(単位:百万円)

	2012年6月期	2013年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	3,033	2,657	△376	△12.4%
ITソリューション	2,648	2,430	△217	△8.2%
ITサービス	460	307	△153	△33.2%
営業利益	10	△18	△28	—
ITソリューション	11	△10	△22	—
ITサービス	31	26	△4	△14.3%
経常利益	31	△24	△55	—
当期純利益	16	△12	△28	—

※当期よりのれん償却額を各セグメントに配分しており、それに合わせて前期の数値を修正しております。

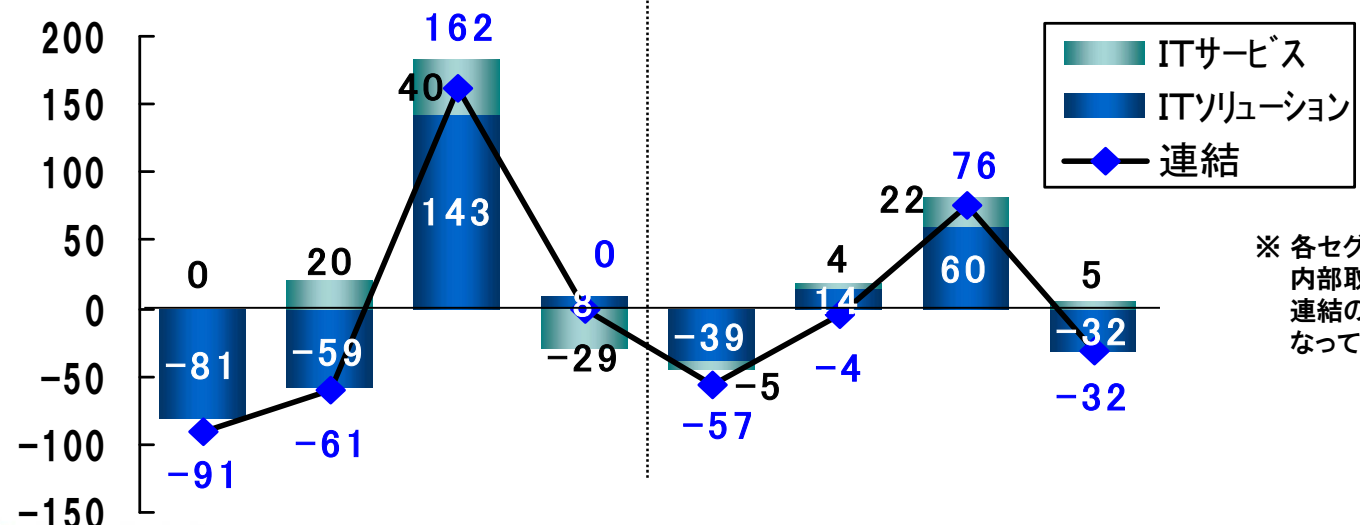
※各セグメントの売上高・営業利益には、内部取引分を含んでおります。

連結 売上高・営業利益の推移



売上高

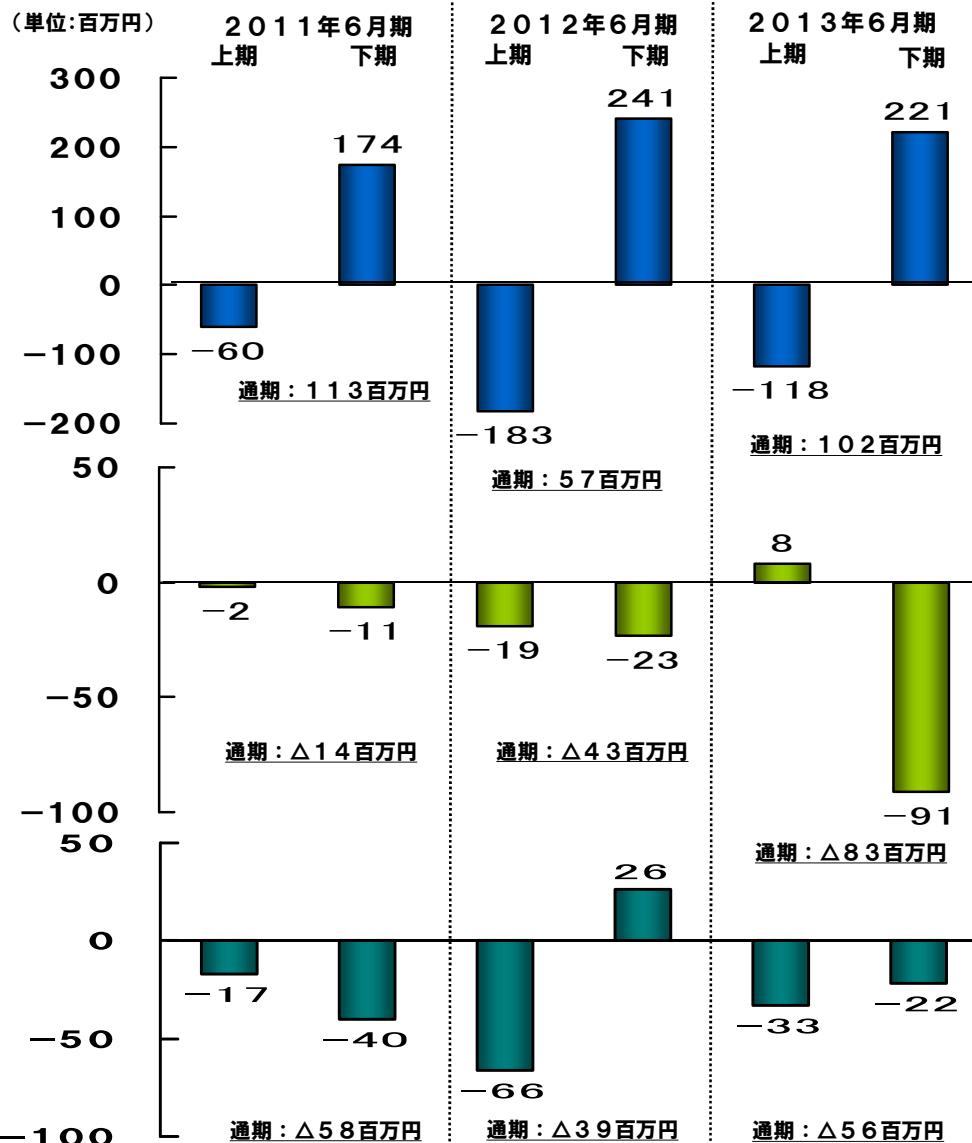
国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。



営業利益

※ 各セグメントの売上高・営業利益には、内部取引分を含んでおります。連結の数値は、内部取引相殺後となっております。

連結 キャッシュ・フローの推移



営業キャッシュ・フロー

ITソリューション事業は、下期3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュ・フローが下期に増加する傾向にあります。

・負ののれん発生益 37百万円
 ・のれん償却費 56百万円

投資キャッシュ・フロー

・子会社株式の取得による支出 23百万円
 ・吸収分割による支出 64百万円

財務キャッシュ・フロー

・長期借入金の返済による支出 45百万円

連結財政状態

ASロカスが他社事業を吸収分割により承継したことにより、総資産は前期比で増加
自己資本比率は64.4%を保持

(単位：百万円)

2012年6月期 総資産 2,217

流動資産 1,701	負債 633
	純資産 1,583
固定資産 515	うち少数株主持分 73

2013年6月期 総資産 2,315

流動資産 1,713	負債 823
	純資産 1,491
固定資産 602	

(資産)	
・ASロカスの吸収分割に伴う 受け入れた資産	124百万円
のれんの計上	40百万円
(負債)	
・ASロカスの吸収分割に伴う 受け入れた負債	100百万円
(純資産)	
・エクスカルの持分追加取得による 少数株主持分の減少	73百万円

(単位：百万円)

	2012年6月期	2013年6月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	57	102	77.6%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43	△83	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39	△56	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,052	996	△5.3%
フリー・キャッシュ・フロー	14	19	28.2%
設備投資 + 研究開発費	81	21	△73.7%
減価償却費	26	30	14.6%
有利子負債	243	198	△18.5%

連結貸借対照表(要約)

(単位:千円)

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,232,719	1,161,903	買掛金	49,398	68,513
受取手形及び売掛金	376,323	414,718	長期借入金(1年内)※1	125,000	118,750
たな卸資産	28,770	37,871	未払金	72,325	108,062
その他	63,850	98,528	未払費用	159,002	211,826
流動資産合計	1,701,664	1,713,021	その他	90,428	112,767
有形固定資産	188,872	249,966	流動負債合計	496,154	619,920
無形固定資産	257,685	278,668	長期借入金	118,750	80,000
投資その他の資産	68,957	74,204	その他	18,402	123,964
固定資産合計	515,515	602,840	固定負債合計	137,152	203,964
			負債合計	633,307	823,885
			純資産の部		
			株主資本合計	1,507,182	1,485,318
			評価・換算差額等合計	3,063	6,657
			少数株主持分	73,626	※2 0
			純資産合計	1,583,872	1,491,976
資産合計	2,217,180	2,315,861	負債純資産合計	2,217,180	2,315,861

※1. 前期末・当期末ともに、短期借入金を80,000千円含んでおります。

※2. 持分50%子会社であったエクスカルを、当期末において100%子会社としたことにより、少数株主持分が減少しております。

連結損益計算書(要約)

(単位:千円)

	2012年6月期	2013年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	3,033,451	2,657,119	△376,331	△12.4%
売上原価	2,047,898	1,802,995	△244,902	△12.0%
売上総利益	985,553	854,124	△131,428	13.3%
販売費及び一般管理費	975,480	872,128	△103,351	△10.6%
営業利益	10,073	△18,003	△28,076	—
営業外損益	21,609	△6,224	△27,834	—
経常利益	31,682	△24,228	△55,910	—
特別損益	△20,858	36,461	57,319	—
税金等調整前当期純利益	10,823	12,233	1,409	13.0%
法人税等	14,388	29,946	15,557	108.1%
少数株主損失	19,617	5,548	△14,068	△71.7%
当期純利益	16,052	△12,164	△28,216	—

売上原価
節電対策シフトの影響減少
業務管理強化、外注費抑制

販売費及び一般管理費
研究開発費が
前期比で47,963千円減少

連結キャッシュ・フロー計算書(要約)

	2012年6月期	2013年6月期	増減	
	期末	期末		
営業活動によるキャッシュ・フロー	57,865	102,783	44,917	77.6%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△43,040	△83,775	△40,735	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,778	△56,044	△16,265	—
現金及び現金同等物の増減額	△24,953	※ △55,825	△30,872	—
現金及び現金同等物の期首残高	1,077,169	1,052,216	△24,953	△2.3%
現金及び現金同等物の期末残高	1,052,216	996,390	△55,825	△5.3%

※エクスカルが、第2四半期期首に連結対象子会社から持分法適用会社になったことに伴う減少額△57,061千円、同社が当期末に持分法適用会社から連結対象子会社になったことに伴う増加額38,273千円が含まれております。

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整四半期純利益12,233千円、負ののれん発生益37,020千円、のれん償却費56,099千円

投資活動によるキャッシュ・フロー

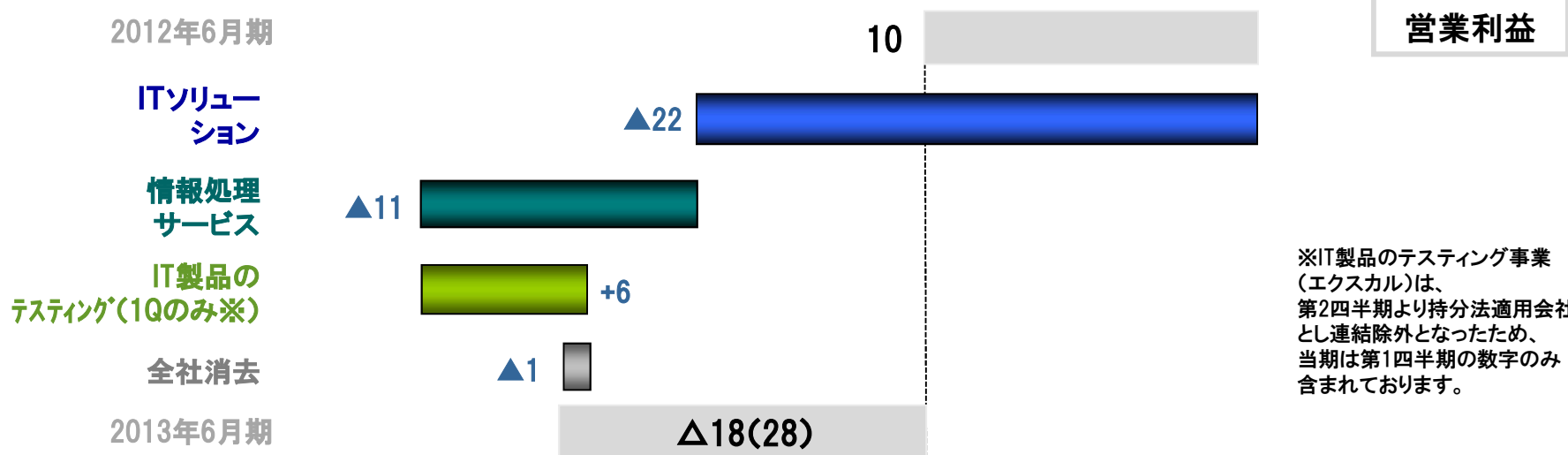
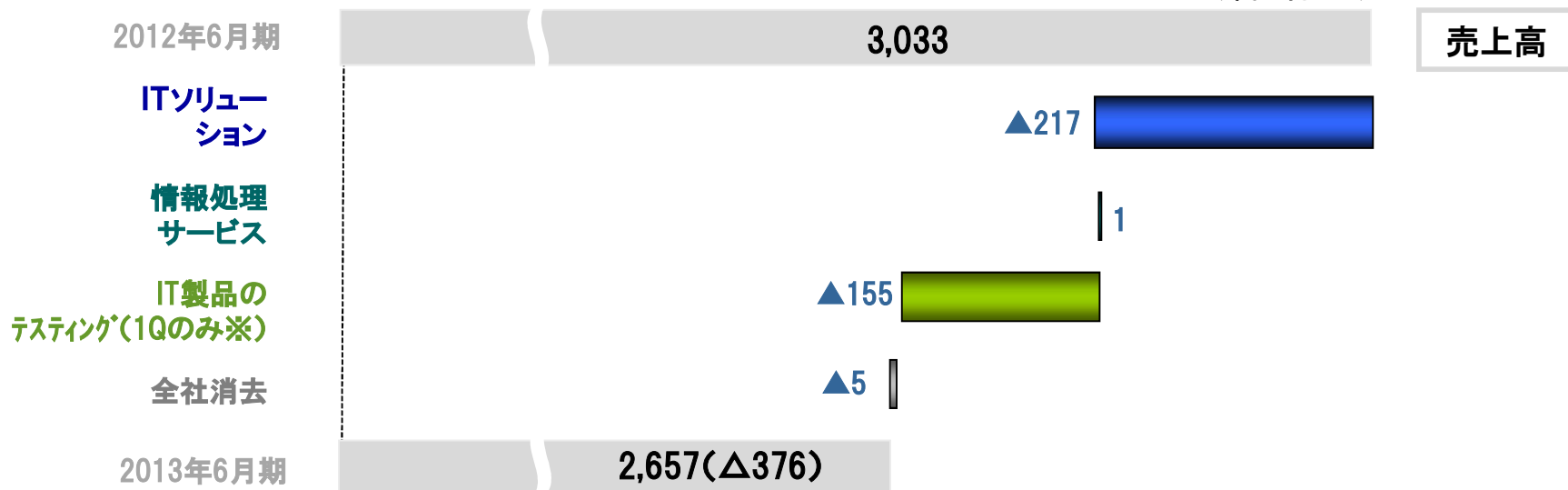
吸収分割による支出64,407千円、子会社株式の取得による支出23,126千円

財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金の返済による支出5,000千円、配当金の支払額9,418千円

連結業績 セグメント別増減

(単位:百万円)



※IT製品のテストイング事業(エクスカル)は、第2四半期より持分法適用会社とし連結除外となったため、当期は第1四半期の数字のみ含まれております。

セグメント情報 ITソリューション事業

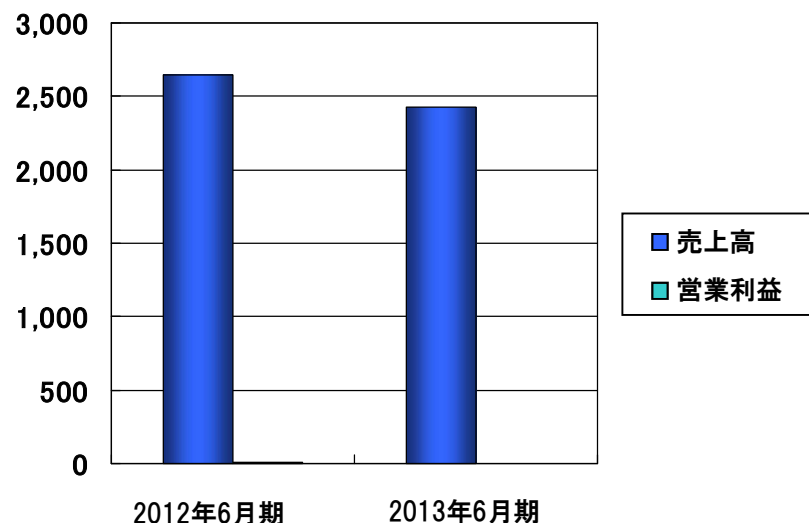
事業の概況

- 製造業の基幹システム更新、通信事業者のシステム投資等の開発案件が増加しているものの、厳しい事業環境が続く
- 運用サービス単価が低下傾向

SI・システム開発

- アクモス(製造・公共系)、ACMOSソーシングサービス(医療・製造系)
- 前期の茨城県関連事業の売上減少分230百万円の影響と発注金額の抑制傾向継続により、売上は前期比で12.1%減
 - 前期に比べて節電対策シフトの影響が減少したこと、業務管理強化、外注費抑制、研究開発費減少により、営業費用を前期比で206百万円削減、営業利益の減少幅を抑える
 - アクモスにおいてSI製品の共通ブランド『SYMPROBUS』のFシリーズ、消防通信指令システムの受注活動を推進
消防受注案件において工事進行基準売上を44百万円計上
- 業務系アプリケーション開発、地図情報提供サービス
ASロカス
- 吸収分割により昭文社デジタルソリューションの事業の一部を承継
2013年6月より事業開始

(単位:百万円)

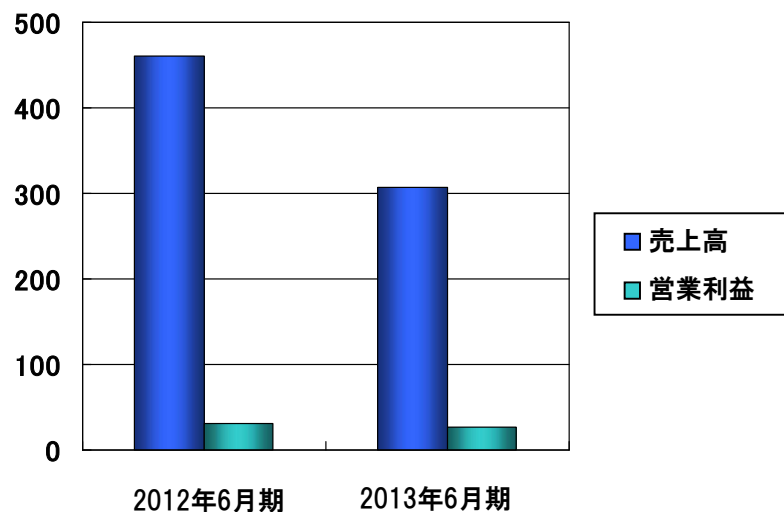


(単位:千円)

	2012年6月	2013年6月	増減	
	通期	通期		
売上高	2,648,280	2,430,751	△217,528	△8.2%
外部	2,572,645	2,349,508	△223,136	△8.7%
内部	75,635	81,243	5,607	7.4%
営業利益	11,842	△10,706	△22,548	—

セグメント情報 ITサービス事業

(単位:百万円)



事業の概況

情報処理サービス

株式会社ジイズスタッフ

- 売上規模は少額も、売上高は前期水準を維持
少人数体制のため受注拡大への対応が困難に
従業員の採用を行い、社内体制強化を図る

IT製品のテストニング

株式会社エクスカ

- 当第2四半期より持分法適用会社となり、第1四半期の業績のみ反映
当期末において全株式を取得し100%連結子会社に

(単位:千円)

	2012年6月期	2013年6月	増減	
	通期	通期		
売上高	460,865	307,611	△153,194	△33.2%
外部	460,865	307,611	△153,194	△33.2%
内部	—	—	—	—
営業利益	31,140	26,698	△4,442	△14.3%

第22期 経営計画の結果について

テーマ 1

事業再構築～事業基盤の強化～

◆組織改革 ・顧客別組織編成

⇒2012年7月1日付で顧客別に組織再編を実施

・品質保証機能強化、プロセスの可視化

⇒開発テストツール導入による品質向上

プロジェクト管理体制構築によるリスク管理強化

◆人材育成

・技術研修の実施により、適応力向上と人材化を図る

⇒当期は計20回の技術研修を実施、延べ192名が参加

カリキュラム(中堅社員向け)	回数	日数	カリキュラム(新入社員向け)	回数	日数
サーバー保守・運用・管理	2回	計4日間	コンピューター基礎	1回	2日間
C#プログラミング	2回	計4日間	プログラム開発基礎	1回	3日間
C++デザインパターン基礎演習	1回	2日間	C言語基礎	1回	3日間
ソリューション営業入門	1回	2日間	C言語プログラミング	1回	4日間
Android基礎	2回	計4日間	Java言語基礎	1回	2日間
プロジェクトマネジメント基礎	1回	計2日間	Java言語プログラミング	1回	5日間
ロジカルシンキング	1回	計2日間	Javaデータベース連携	1回	4日間
			Java GUIプログラミング	1回	4日間
			システム開発基礎	1回	2日間
			プロジェクト型演習	1回	5日間

第22期 経営計画の結果について

テーマ 2

新規事業創出

- ◆ソーシャルソリューション事業部を新設
- ◆システムインテグレーション関連製品共通ブランドに『SYMPROBUS』を採用、2012年12月25日より使用開始
⇒通信指令システム(SYMPROBUS Fシリーズ)の受注活動を推進、第22期において受注案件の工事進行基準売上を44百万円計上



通信指令システム

第21期に標準機能開発が完了。
CTI(電話・コンピュータの統合システム)とGIS(地理情報システム)を活用したシステムに、信頼性の高い既存機器を組み合わせることにより、省スペース・ローコスト・高拡張性を実現。

消防救急無線は、2016年5月末迄のデジタル化が求められており、デジタル化にあわせたリプレースや新規導入の需要が高まっている。

現在、全国の市町村・消防署等を訪問し、通信指令システムのデモンストレーションを実施している。

※「SYMPROBUS」はアコムス株式会社の登録商標です(第5595952号)

第22期 経営計画の結果について

私たちの暮らしを支えるシステム **SYMPROBUS**

SYMPROBUS(シンプロバス)は、アクモスのシステムインテグレーション製品の共通ブランド名です。

SYM(シン)は「ともに」

PROBUS(プロバス)は「誠実」

この二つの言葉を組み合わせたブランド名には、情報通信企業として、協調を大切にする「ともに」という気持ちと、安全を重視する「誠実」な考え方に基づいて、私たちの暮らしにかかわるシステムインテグレーションに携わっていきたいという当社の思いを込めています。

SYMPROBUSシリーズは、様々な企業の優れた製品や最新のソリューションを、当社の技術やアイデアと組み合わせてシステムに統合し、私たちの暮らしの安心と安全を支えています。

- ・SYMPROBUS Fシリーズ 消防通信指令システム
- ・SYMPROBUS GISシリーズ GISパッケージソフト
- ・SYMPROBUS ハード製品 CTIアダプター



※「SYMPROBUS」はアクモス株式会社の登録商標です(第5595952号)

第23期 業績予想

【ITソリューション事業】

SI・ソフトウェア開発において、既存事業の収益力強化、成長分野の取り込みにより、低下した収益力を回復させるべく事業の再生を図る
業務系アプリケーション開発・地図情報提供サービスとの事業連携とともに、消防通信指令システムの営業に注力

【ITサービス事業】

IT製品のテストングにおいては既存分野に加え新規事業での売上拡大、情報処理サービスにおいては社内体制強化による受注拡大を目指す

連結 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2013年6月期	2014年6月期	
	通期実績	通期予想	
売上高	2,657	3,500	31.7%
営業利益	△18	80	—
経常利益	△24	80	—
当期純利益	△12	50	—
1株当たり当期純利益(円)	△1.25	5.15	—

単体 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2013年6月期	2014年6月期	
	通期実績	通期予想	
売上高	2,092	2,500	19.5%
経常利益	31	70	125.5%
当期純利益	32	50	54.7%
1株当たり当期純利益(円)	3.33	5.15	—

※ 当社は、2013年7月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。

そのため、1株当たり当期純利益の金額は、前事業年度の期首に当該分割が行われたと仮定して算出しております。

※ 2014年6月期の予想数値は、発表日時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としており、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる場合がございます。

利益配分方針

安定的な期末配当の継続を目指す

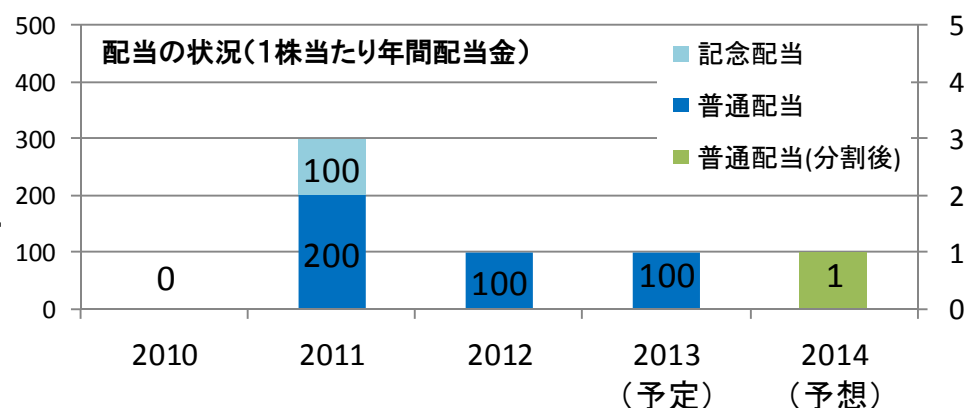
第22期の期末配当は1株当たり100円、第23期の期末配当予想は1株当たり1円
(※2013年7月1日付で株式分割を実施し、1株を100分割しております)

配当政策

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の実現を、中長期的な重点課題として位置づけております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・配当原資確保のための収益力向上を図る
- ・財政基盤の強化に努める
- ・単体当期純利益に対する配当性向30%を目標に連結業績と内部留保を勘案し、配当を行う



株式分割実施、単元株制度導入のお知らせ

2007年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、当社株式を上場している証券市場の利便性・流動性の向上に資するため、2013年7月1日付で、1株を100株に分割するとともに、当社株式の売買単位を100株とするため、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたしました。

対処すべき課題

いつも、どんなときも、安心・安全なITソリューション&ITサービスをお客様に提供するとともに、社員・家族が安心して業務に従事できる環境を整備してまいります

▶ ITソリューション事業に関する課題

- ・収益力低下に伴い、収益力向上と新規事業展開による新たな発展のため再生プロジェクトを推進いたします。
- ・不採算案件の事前予防・検出のために品質マネジメントシステムの運用を強化するとともに、自社製品、納品システムの品質確保に努めます。
- ・顧客からの信頼性向上のため、コンプライアンス徹底に努めます。

▶ ITサービス事業に関する課題

- ・IT製品のテスト事業においては、規格認証機関として認証を受けるための体制整備と営業基盤強化のため、他企業とのアライアンスを含め、連携を進めてまいります。
- ・情報処理サービス事業においては、受注拡大に対応できる体制整備、価格競争に負けない体制づくりを目指していきます。

▶ リスクマネジメントに関する課題

- ・社会インフラや行政サービスを支えるIT企業グループとして、いつもどんなときも、お客様に安心してお使いいただける安全なサービスの提供に努めます。
- ・社員その家族が安心して業務に従事できる環境の整備を、より一層進めてまいります。

アクモスグループは、社会インフラ・ライフラインのIT基盤をサポートします



< 参考資料 >

(Info.) アクモスグループ事業

アクモス株式会社

ソーシャルソリューション事業部

- ・消防通信指令システム
- ・CTI
- ・GIS
- ・スマートデバイス

事業本部

- ・IT基盤設計・構築
 - ・SI・ソフトウェア開発
 - ・システム運用・保守
- 公共
産業・製造系企業
医療機関など

ACMOSソーシングサービス株式会社

- ・病院システム運用開発
- ・業務系、基幹系システム開発
- ・ヘルプデスク

株式会社ジイズスタッフ

- ・情報処理サービス
- ・BPOサービス

ASロカス株式会社

- ・業務系アプリケーション開発
- ・地図情報提供サービス

株式会社エクスカル

- ・規格認証サービス
- ・第三者検証サービス
- ・ユーザビリティ

- ◆ 単体ITソリューション群
- ITソリューショングループ企業
- ITサービスグループ企業

(Info.)アクモスグループ一覽

アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円 売上高 2,092百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル4階
TEL:03-5217-3121 FAX:03-5217-3122
<http://www.acmos.co.jp>



お問合せ先 hp.biz@acmos.co.jp

主要取引先 株式会社日立製作所、株式会社日立情報制御ソリューションズ、富士通株式会社、株式会社常陽銀行、株式会社日立ビルシステム、日立電線株式会社、日立建機株式会社、アルパイン株式会社、KDDI株式会社、官公庁 他

ACMOSソーシングサービス株式会社

設立 1981年3月 資本金 1,300万円 売上高 328百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル4階
TEL:03-5217-3332 FAX:03-5217-3334
<http://www.acmos-ss.jp>



お問合せ先 info@acmos-ss.jp 主要取引先 日本電気株式会社、NECソフト株式会社、東京医科大学病院、埼玉病院、他国立5病院 他

株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円 売上高 275百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル3階
TEL:03-5217-3131 FAX:03-5217-3134
<http://www.gstf.jp/>



お問合せ先 inquiry@gstf.jp 主要取引先 官公庁、大学、民間企業、労働組合 他

株式会社エクスカル

設立 1998年3月 資本金 2,600万円 売上高 160百万円
所在地 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地
横浜ビジネスパークイーストタワー14階
TEL:045-332-7333 FAX:045-332-7444
<http://www.xxcal.co.jp/>



お問合せ先 kksales@xxcal.co.jp 主要取引先 パナソニック株式会社、ソニー株式会社、キヤノン株式会社、エレコム株式会社、株式会社ニコン 他

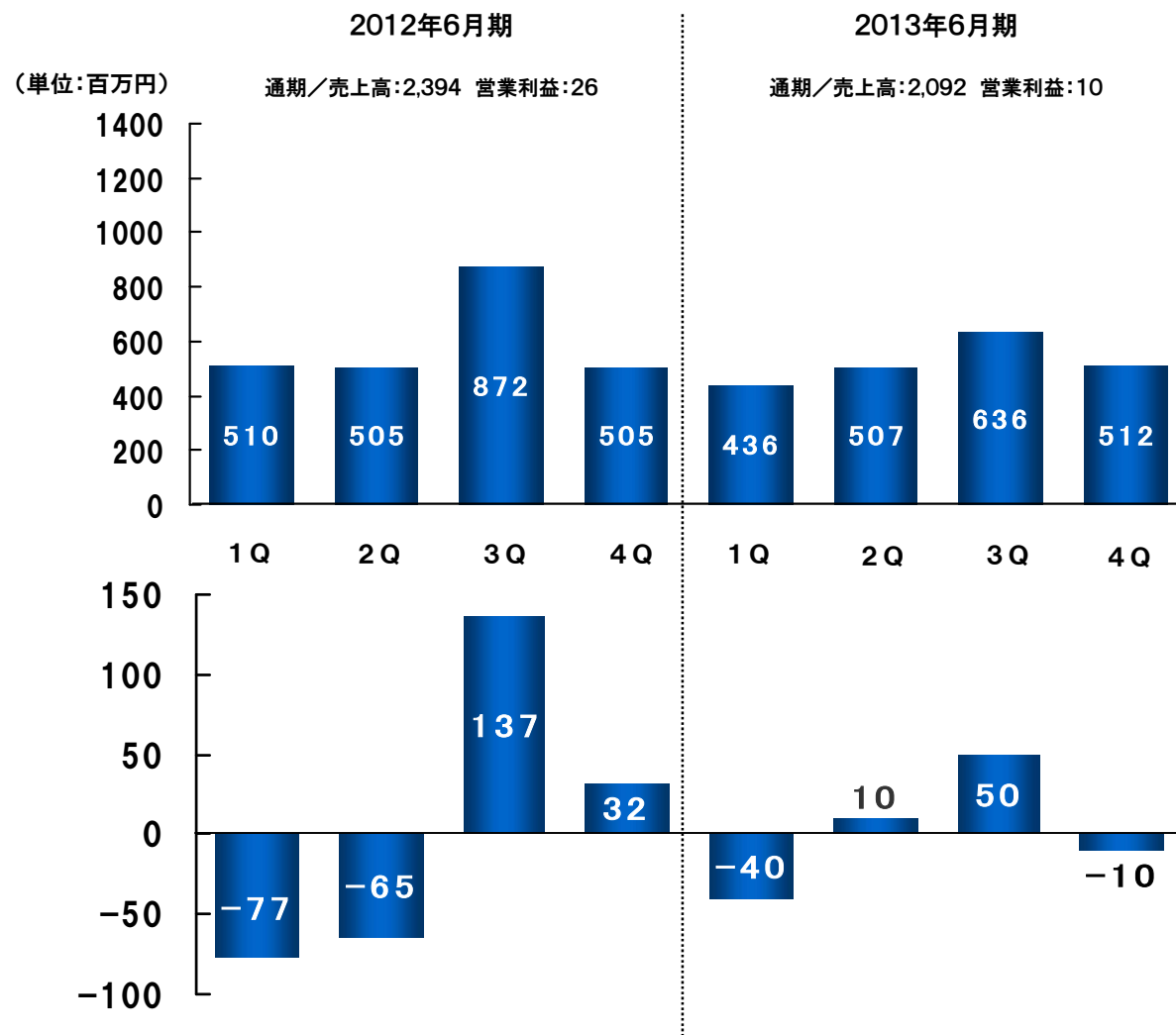
ASロカス株式会社

設立 1980年1月 資本金 1億円 売上高 675百万円
所在地 〒290-0056 千葉県市原市五井3926-1
TEL:0436-24-0374 FAX:0436-24-2116
<http://www.as-locus.jp/>



お問合せ先 sales@as-locus.jp 主要取引先 株式会社昭文社、消防防災総合センター、株式会社東京カンテイ、八王子市役所、NTT東日本千葉 他

単体 売上高・営業利益の推移



売上高

国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。

営業利益

単体貸借対照表（要約）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	951,516	830,710	買掛金	36,953	47,009
受取手形及び売掛金	302,840	306,908	長期借入金（1年内）※1	105,000	98,750
たな卸資産	19,715	14,831	未払金	45,775	81,081
その他	79,269	59,980	未払費用	133,466	157,889
流動資産合計	1,353,340	1,212,431	賞与引当金	10,901	11,064
有形固定資産	184,469	176,723	その他	74,105	79,886
無形固定資産	41,916	38,959	流動負債合計	406,202	475,680
投資その他の資産	401,011	608,533	長期借入金	118,750	80,000
固定資産合計	627,397	824,216	その他	13,203	12,165
			固定負債合計	131,953	92,165
			負債合計	538,156	567,845
			株主資本合計 ※2	1,439,517	1,462,143
			評価・換算差額等合計	3,063	6,657
			純資産合計	1,442,581	1,468,801
資産合計	1,980,738	2,036,647	負債純資産合計	1,980,738	2,036,647

※1 前期末、当期末ともに、短期借入金60,000千円を含んでおります。

※2 前期末、当期末ともに、自己株式△53,911千円を含んでおります。

単体損益計算書(要約)

(単位:千円)

	2012年6月期	2013年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	2,394,387	2,092,655	△301,731	△12.6%
営業利益	26,858	10,615	△16,242	△60.5%
経常利益	151,947	31,038	△120,909	△79.6%
当期純利益	150,006	32,325	△117,681	△78.5%

売上高

- ・前期は、茨城県平成23年度ひとり親家庭等在宅就労支援事業による売上計上
- ・当期は、発注金額の抑制傾向継続により売上減少

営業利益

- ・プロジェクト毎の業務管理強化、外注費抑制などにより、売上原価が前期比で235,033千円減少
- ・研究開発費の減少、経費削減効果により、販売費及び一般管理費が前期比で50,455千円減少

経常利益

- ・前期は、連結子会社からの受取配当金104,267千円、助成金収入14,609千円計上

■本資料について■

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しに変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しに関する記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営企画室 TEL:03-5217-3123